

平成27年度

事 業 報 告

(平成27年1月1日～12月31日まで)

公益社団法人 競走馬育成協会

平成 27 年度 事業報告

公益社団法人 競走馬育成協会

概況

平成 27 年度の中央競馬はダービーや有馬記念を中心に 1 年を通じて順調に推移し、発売金は対前年比 103.6%と 4 年連続で増加、開催場入場人員も対前年比 102.8%という良好な成績であった。

育成業界が注目している 2 歳トレーニングセールにおいては、千葉サラブレッドセールにおける取引馬の競走成績や良血馬の上場、北海道トレーニングセールにおけるリニューアル札幌競馬場での開催等が注目を集めた。その結果 JRA ブリーズアップセールを除いた集計で、上場頭数の増加により売却率はやや減少したものの、売却頭数・購買登録者数・売却総額・平均価格の増加や高額価格帯へのシフト等、盛況な市場であったといえる。

このような情勢の中、当協会は平成 27 年度も様々な事業を展開してきた。

競走馬育成技術表彰では会員育成馬の優勝する競走が増加しているうえに、開催場表彰の対象となる重賞 2 歳ステークス競走では全 6 競走すべてで会員の育成馬が優勝した。

就業者参入促進事業(BOKUJOB)では、PR イベントやメインフェアの関東開催競馬場での開催や広報相談コーナーの増設といった新たな施策を含めて、関西フェアの開催、牧場見学会や牧場で働く体験会の実施、ウェブサイトの充実等が 1 年を通じて間断なく運営された。

その他、育成技術講習会の開催、修学奨励金交付、海外派遣研修、競馬関連機材の有効活用、利子補給、リース事業仲介、情報誌発行等の事業を展開した。

1. 軽種馬の育成調教技術の向上に関する普及、啓発及び指導

1) 育成技術講習会の開催（公益事業）

軽種馬の生産、育成、調教に関する知識と技術の向上を目的とした講習会を当協会の全 5 支部で開催した。開催にあたっては広く一般にも参加を呼びかけ、日本中央競馬会(JRA)及び公益財団法人軽種馬育成調教センター(BTC)との連携・共催で実施した。

支部	開催月日／場所	講習内容	講師	参加者
東北	8 月 5 日 八戸家畜市場	サラブレッド 1 歳市場におけるレポジトリー所見	佐藤文夫氏／JRA 日高育成牧場	36 名
九州	9 月 15 日 JBBA 九州種馬場	サラブレッド 1 歳市場におけるレポジトリー所見	佐藤文夫氏／JRA 日高育成牧場	32 名
北海道	10 月 13 日 新ひだか町公民館	生産地において注意すべき感染症と厩舎衛生	奥河寿臣氏／JRA 馬事部	127 名
関西	10 月 28 日 栗東トレセン	騎乗者の身体のケア	松元剛氏／筑波大 学准教授	68 名
関東	11 月 4 日 美浦トレセン	騎乗者の身体のケア	松元剛氏／筑波大 学准教授	43 名

育成技術講習会の受講者数の推移

平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
234 人	449 人	748 人	490 人	573 人	306 人

2) 競走馬育成調教技術表彰事業

競走馬の育成調教の技術向上を図り、育成調教者の基盤強化及び意欲増進を図るため、優秀な競走成績を収めた競走馬の育成調教者に対する表彰を実施した。

表彰対象 501 競走のうち 279 競走で会員の育成馬が優勝し表彰された。特に 3 歳以上の重賞やオープン競走で表彰件数が増えており全体で 7 競走の増加となった。

また、競馬施行場で育成協会会長賞表彰を実施する重賞 2 歳ステークス競走 6 競走（札幌・函館・新潟・小倉・京王杯・デイリー杯）については、対象の全 6 競走すべてで当協会会員の育成馬が優勝しウイナーズサークルで表彰を受けた。

対象競走	平成 27 年度			平成 26 年度	
	競走数	表彰件数	該当率(%)	表彰件数	該当率(%)
2 歳新馬	228	171	75.00	172	76.44
3 歳新馬	57	47	82.46	49	83.05
2 歳重賞 ※1)	18	13	72.22	12	66.67
障害重賞	10	1	10.00	2	20.00
3 歳以上重賞	112	29	25.89	25	22.32
3 歳以上平地オープン ※2)	76	18	23.68	12	16.00
合計	501	279	55.69	※3) 272	54.51

※1) 2 歳重賞指定交流競走（地方競馬施行）の 4 競走含む

※2) 3 歳限定オープン競走を除く

※3) 平成 26 年度の表彰件数は平成 27 年度に追加となった 4 件を含む

2. 軽種馬の育成調教に係わる人材の確保・養成に関する支援（公益事業）

1) 生産育成調教牧場への就業者参入促進事業（BOKUJOB）

軽種馬の生産育成調教分野で働く人材の確保を目的とし、多くの若者に生産育成調教の現場を紹介することによって就業者の参入を促進するため、当協会を中心に JRA・BTC・公益社団法人日本軽種馬協会（JBBA）・一般社団法人日本競走馬協会の 5 団体で牧場就業促進事務局（BOKUJOB 事務局）を構成して各種事業を展開した。

① 牧場就業促進ウェブサイトの運営

就職先としての生産育成牧場の認知や牧場での仕事に関する情報の提供を目的に平成 22 年度に開局したウェブサイトは、さらに認知度が向上し安定したアクセス数を獲得している。

また、平成 27 年度にはスマートフォン用サイト及びパソコンサイトの改修を行った。

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
延べアクセス数	210,008	302,502	485,681	623,048	898,214	1,586,512
延べ利用者数	50,252	64,524	98,160	123,342	197,504	316,796

② BOKUJOB PR イベント 2015（東京競馬場）

関東地区では初めて開催日開催競馬場の G I 安田記念施行週に、BOKUJOB 活動の認知度の拡大と各種イベントへの参加誘導のため、牧場関係者と直接対話のできるブースを設けた PR イベントを開催した。

6月6・7日（土・日）東京競馬場 フジビュースタンド1階イーストホール

出展 12 牧場・JBBA・BTC・日本軽種馬青年部連絡協議会

木馬騎乗体験・ふるさと案内所

来場者 121 名（保護者他 58 名）、その他見学者 189 名

③ BOKUJOB 関西フェア 2015（阪神競馬場）

G I 宝塚記念施行週に開催日開催競馬場で実施される BOKUJOB 関西フェアが関西地区での BOKUJOB 活動として定着しつつあることから、牧場との直接対話の場としてさらなる認知度の向上を見据え、平成 27 年度も同時期同場所で開催した。

6月27・28日（土・日）阪神競馬場 アメニティホール

出展 7 牧場・JBBA・BTC・日本軽種馬青年部連絡協議会・ふるさと案内所

来場者 114 名（保護者他 45 名）、その他見学者 118 名

④ BOKUJOB メインフェア 2015（東京競馬場）

就職協定の変更や高校生の就職活動の動向を考慮して、秋の時期に初めて関東地区の開催日開催競馬場で牧場関係者と直接対話のできるブースを設けたイベントを開催した。

10月17・18日（土・日）東京競馬場 正門横特設会場

出展 20 牧場・JBBA・BTC・装削蹄協会・日本軽種馬青年部連絡協議会

進路指導（静岡農業高校教諭）・ふるさと案内所

来場者 320 名（保護者他 234 名）、その他見学者 275 名

⑤ 広報&相談コーナーと PR ブース

平成 27 年度の新たな試みとして、フェアを開催する地域から離れた場所の潜在的ニーズの掘り起こしのため、競馬開催日に各競馬場でブースを設置し BOKUJOB 活動の広報や牧場業務に関する相談等を実施した。

中京競馬場 7月18~19日 参加者 40 名

札幌競馬場 8月8~9日 参加者 45 名（JBBA・BTC 研修案内）

小倉競馬場 9月5~6日 参加者 42 名

また、中山競馬場 JRA ブリーズアップセール・札幌競馬場北海道トレーニングセール・ノーザンホースパークセレクトセールといったセリ市場の際に PR ブースを設置し、BOKUJOB 活動の広報と PR を実施した。

⑥ 牧場見学会

関東関西それぞれの地区ごとに一般公募で参加者を募り、若手従業員との質疑応答等を交えた牧場見学会を日帰りで実施した。

関東地区 3月7日 参加者 25名

協力牧場：ビッグレッドファーム銚田、KS トレーニングセンター、松風馬事センター

関西地区 3月14日 参加者 24名

協力牧場：グリーンウッド・トレーニング、信楽牧場、ノーザンファームしがらき

⑦ 夏休み牧場で働こう体験会

全国公募で参加者を募り夏休み期間を利用して、牧場での就業体験・体験乗馬・BTC 研修体験・JBBA 研修見学・JRA 日高育成牧場講義・スタリオン見学等のカリキュラムを5泊6日で実施した。

8月2～7日 参加者 16名

研修牧場：まるとみ富岡牧場、杵臼牧場、辻牧場、宮内牧場、様似高村牧場

2) 担い手育成事業

生産育成調教牧場で働く意欲ある人々に必要な能力として馬に関する知識と技術を開発し向上させるため、研修機関への修学や海外研修を援助した。

① 修学奨励金交付事業

BTC が実施する育成調教技術者養成研修の平成 27 年度入講生 3 名と JBBA が実施する軽種馬生産育成技術者研修の平成 27 年度入講生 2 名に対して、修学奨励金を交付した。その後 BTC 入講生のうち 1 名については途中退所となったため修学奨励金の返還を受けた。

② 生産育成技術者海外派遣研修事業

生産育成技術者養成機関の卒業研修生として BTC からの推薦者 2 名をアイルランド競馬学校 (RACE) に約 3 か月間派遣した。

長期研修としては会員牧場の従業員 3 名について、1 名はイギリス・アイルランド・フランス、1 名はイギリス・フランス、1 名はアイルランドにそれぞれ約 3 か月間派遣した。

短期研修としては会員牧場の従業員等 6 名をイギリス・アイルランドに 7 日間派遣し、生産育成牧場、種馬所、厩舎、競馬場、競馬博物館、競馬学校等で研修を実施した。

3. 軽種馬の育成調教に係わる競争力の向上に対する支援（共益事業）

1) セリ市場の振興

若馬育成調教の成果がセリ市場取引に反映されるよう支援に努め、2 歳トレーニングセールの支部による後援等を実施した。

2) 育成調教施設等の整備に対する助成事業

① 軽種馬生産育成強化資金利子補給事業

育成施設等の整備のために会員が借り受けた資金の利子負担軽減を図るため、公益財団法人全国競馬・畜産振興会から軽種馬生産育成強化資金を受け、平成 27 年度は継続 3 件の利子補給を実施し、そのうち 1 件が平成 27 年度内に完済となった。

② 畜産環境整備リース事業

家畜排泄物適正管理のための施設や機材の貸与によって畜産環境問題に対応するために、一般財団法人畜産環境整備機構の行う畜産環境整備リース事業について、平成 27 年度は会員への継続再貸付 1 件に関する委託業務を実施した。

③ 競馬関連機材等有効活用事業

日本中央競馬会の施設等で使用を取りやめた競馬関連の機器・資材などを有効に活用するため、平成 27 年度はトラクター 3 台、馬場柵 1 セットに関して会員への抽選と斡旋を実施した。

④ 畜産近代化リース事業

公益財団法人畜産近代化リース協会の行う畜産リース事業について、平成 27 年度は会員からの新規案件 3 件に関する申請を仲介した。

4. 軽種馬の育成調教に関する情報誌の発行

軽種馬の飼養管理及び育成調教技術の普及並びに改善向上に役立つ情報を提供するため、平成 27 年度も機関誌「いくせい」の 53 号（8 月 31 日付）を発刊した。

5. 協会の運営、組織、その他必要な監査等

1) 総会の開催（定時総会）

2 月 27 日 15 : 00 ~ JRA 六本木事務所 9 階第 1 会議室

議案：平成 26 年度事業報告及び計算書類について

平成 27 年度会費等の額及び徴収の方法について

理事の報酬等の額について

理事及び監事の選任について

2) 理事会の開催

① 第 1 回理事会（定例）

2 月 6 日 14 : 30 ~ 新橋分館 8 階会議室

議案：平成 27 年度定時総会の開催日程、提出議案、委任状等について

業務委託費の配分方法について

② 第2回理事会（臨時）

2月27日 14:00～ JRA 六本木事務所 9階第3会議室
議案：平成27年度定時総会の委任状の取り扱いについて
役員の報酬額等について

③ 第3回理事会（臨時）

2月27日 15:45～ JRA 六本木事務所 9階第3会議室
議案：会長・副会長等の互選について

④ 第4回理事会（定例）

12月11日 14:00～ 新橋分館 4階会議室
議案：平成27年度予算補正について
平成28年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資見込みについて
特定個人情報取扱規則の制定について

⑤ 書面理事会（定款第41条）

4月10日 入会の承認 2件
5月21日 入会の承認 1件
7月23日 入会の承認 1件
9月10日 入会の承認 2件
12月9日 入会の承認 1件
12月14日 入会の承認 1件

3) JRA との育成等に関する懇談会

9月25日 10:00～ JRA 六本木事務所

内容：セリ市場の動向

育成牧場における人材確保（BOKUJOB）・養成について
育成技術表彰事業について
育成牧場の基盤強化対策について

4) 協会の組織

① 会員数の動向

	北海道	東北	関東	関西	九州	計	賛助会員
平成26年12月31日	90	8	39	27	16	180	8
増加	2	0	4	2	0	8	0
減少	7	0	3	0	1	11	0
平成27年12月31日	85	8	40	29	15	177	8

② 役員の動向

2月27日 退任：武田暁朗（会長）、和田隆一（副会長・常務理事）、荻野豊（副会長）、信國卓史（理事）

2月27日 就任：栗田晴夫（会長）、佐藤光信（副会長・常務理事）、飯田正剛（副会長）、宮島成郎（理事）

平成27年2月27日以降の役員

会長理事	栗田晴夫	非常勤	
副会長理事	佐藤光信	常勤	常務理事兼務
副会長理事	飯田正剛	非常勤	
理事	高橋司	非常勤	
理事	荻野豊	非常勤	
理事	諏訪豊蔵	非常勤	
理事	沖崎誠一郎	非常勤	
理事	中内田克二	非常勤	
理事	柏木務	非常勤	
理事	宮島成郎	非常勤	
理事	織田信美	非常勤	
監事	安達正奉	非常勤	
監事	杉野繁治	非常勤	

③ 職員等の動向

平成26年12月31日	就任・転入	退任・転出	平成27年12月31日
3名	2名	2名	3名

5) その他監査・検査等

○ 地方競馬全国協会（NAR）による監査

7月15日 新橋分館4階 競走馬育成協会事務所

内容：競走馬生産振興事業・軽種馬経営指導研修（人材養成支援）について